

学校名	京都聖母学院高等学校
所在地	京都市伏見区深草田谷町 1
電話番号	075-641-0507

(1) 建学の精神	建学の精神「カトリックの人間観・世界観にもとづく教育を通して、真理を探究し愛と奉仕と正義に生き、真に平和な世界を築くことに積極的に貢献する人間を育成する。」に基づく、女子教育を行うことを目的とする。従順・純潔を校訓とし、清く優しい心を持ち、積極的に社会に貢献する人材の育成に重点を置く。						
(2) 本校の特色及び 将来展望	Ⅰ類、Ⅱ類、Ⅲ類および看護系大学進学コースの4コースを設置。カトリックの精神に基づいた女子教育を核に、各コースの特徴ある体制により幅広い大学進学に対応している。 ●Ⅰ類は私立の文系大学へのカリキュラムに特化。豊富な指定校推薦枠や同志社女子大学クラスなど、進学の保障が充実。また、GSC(グローバルスタディーズコース)をサブコースとして設置し国際教育にも重点を置いている。 ●Ⅱ類は国公立大学への進学に合わせたカリキュラムと充実した演習による入試対策を行い、現役合格を目指している。 ●Ⅲ類は高いレベルの学習内容と記述対策を行いながら、最難関国公立大学、医歯学部合格を目標に取り組んでいる。 ●看護系大学進学コースは複数の看護系大学との提携により充実した体験カリキュラムが特色。						
(3) ・令和8年度納付金 ※学科やコースによって 納付金に差異がある場合 は最低額を計上。 ・今回改定 あり なし ・前回改定 令和4 年度	【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	審査料
		150,000	0	504,000	204,000	708,000	20,000
	【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計	
				504,000	204,000	708,000	
	【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計	
				504,000	204,000	708,000	
	*施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。						
・今後の納付金に 対する考え方	経費の見直しや効率的な運営体制の確立といった経営の合理化により、可能な限り値上げは行わないことを目指しています。 その一方、以下のような理由からやむを得ず値上げする場合があります。 ・物価上昇や社会情勢急変、労働力不足といった学内外の環境変化に柔軟に対応するため ・ICT技術を活用した教育の充実など、教育多様化のニーズに対応するため。 なお、生徒や保護者には納付金の使途について十分な説明を行い、透明性の高い運営を心がけています。生徒たちにより良い教育を提供するために必要な投資を行いつつ、保護者の経済的負担が軽くなるよう最大限務めています。						
(4) 教育内容、施設整備の 改善・拡充等の状況	●次世代の英語教育を行うGSC(グローバルスタディーズコース)をⅠ類に設置し、英語コミュニケーション能力に磨きをかけ、国際社会に貢献できる人材を育成しています。また、社会に出てからも役立つ様々な体験を行う特別授業「ライフマネジメント」や、福祉実践などの選択授業をⅠ類に設け、将来の目標をみつける機会が持てるようにしています。 ●施設設備については電子黒板を各クラスに導入し、教育活動の質を高めています。 ●デジタル採点を導入することによって業務の効率化に務めています。						
(5) 令和8年度の保護者 負担軽減策及び考え方	●「国の高等学校等就学支援金」および「京都府あんしん修学支援（授業料減免）」により、世帯年収目安590万円未満世帯に対しては年額上限650,000円の保護者負担を軽減いたします。 ●就学支援金、京都府あんしん修学支援の認定時期と本学の授業料引き落とし時期のタイミングがあれば、徴収額を可能な限り減額する措置をとり、保護者が一時的な支払いをしなくてもよいよう配慮いたします。 ●従前からの学校独自の奨学制度により保護者の負担軽減に配慮いたします。 ・特待制度・・・成績優秀者の年間授業料を全額または半額免除 ・ベルナデッタ給付奨学制度・・・入学後、学費納入が困難になった者に対する奨学制度						
(6) 今後5年程度の保護者 負担軽減計画	以下のような取り組みにより経営の合理化・効率化に着手し続け、財政健全化を図りつつ納付金は現状維持とし、可能な状況になれば保護者負担軽減策を検討します。 ・ICT技術の導入と継続 ・業務プロセスの見直し ・教員や事務職員の業務の分担見直し ・予算の計画的な有効活用 ・施設、設備の整備						